

令和7年度 第Ⅰ回 佐賀県建設業審議会【諮問事項】

—令和9・10年度佐賀県建設業者施行能力等級評定要領（案）について—

令和7年9月4日
県土整備部 建設・技術課

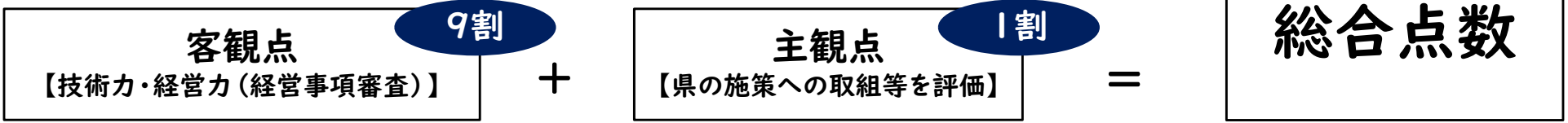
1.入札参加資格審査（等級格付）の概要について

❖等級格付けとは

- ・発注規模に応じて、技術力・経営力を有する適正な業者を選定できるよう、事前に審査したうえで登録し、ランク分け（A級、B級など）する仕組み。
- ・入札参加資格は2年間有効であり、2年毎に資格審査（等級格付）を実施

❖客観点と主観点で点数付け

業者の技術力・経営力と、県の施策への取組等を評価。

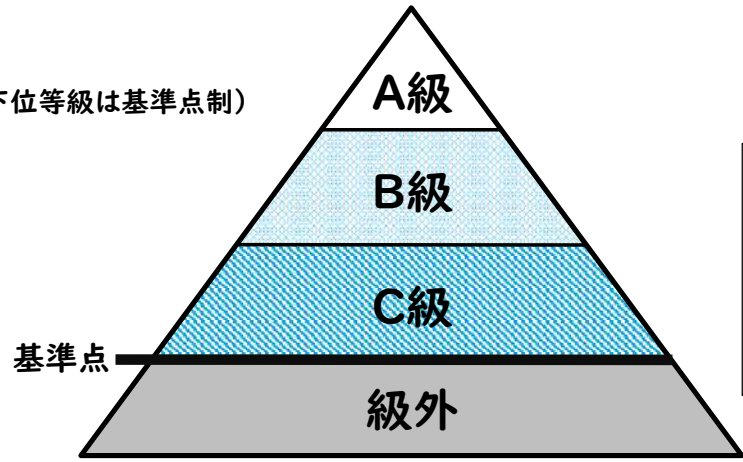


❖等級の格付け方法

○11業種は順位制

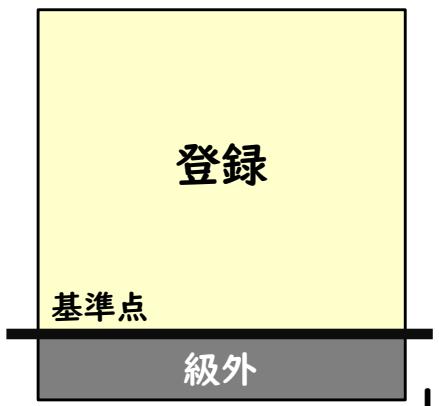
（上位等級は順位制、最下位等級は基準点制）

土木一式、建築一式、
とび土工、電気、管、
鋼構造物、塗装、造園、
舗装、機械器具設置、
電気通信



○18業種は登録制

大工、左官、石、屋根、タイル、鉄筋、
しゅんせつ、板金、ガラス、防水、
内装仕上、熱絶縁、さく井、建具、
水道施設、消防施設、清掃施設、
解体



2.経営事項審査（客観点）および技術等評価点（主観点）について

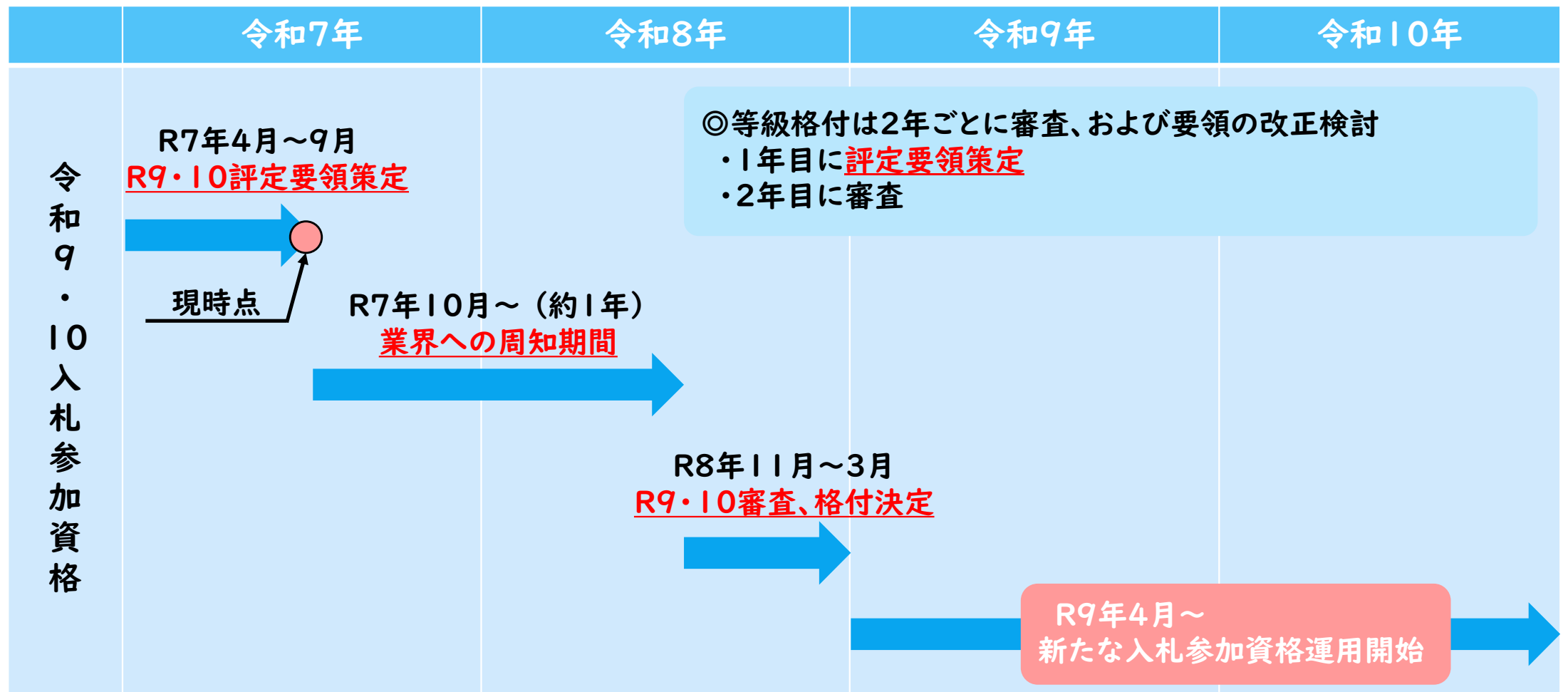
【❖経営事項審査（客観点）の内容】 ※評価項目、配点等は国が全国共通に定めたもの

区 分	評価内容
経営規模	年間平均完成工事高（工事種別）、自己資本額など
経営状況	企業の財務状況（利益率、自己資本比率、利益剰余金など）
技術力	技術職員数、年間平均元請完成工事高（工事種別）
その他（社会性等）	労働福祉の状況、建設業の営業年数、防災活動への貢献の状況、知識及び技術又は技能の向上に関する建設工事に従事する者の取組の状況など

【❖技術等評価点（主観点）の内容】

区分	評価の目的・対象	評価内容
技術的要素	公共工事の品質確保を図るため、建設業者の技術力を評価	県工事の施工成績、優良工事に対する知事表彰等の表彰実績、施工管理に関する技術力及び資質の向上のための継続学習実績（CPDS、CPD）等
県の重点施策への取組	建設業を取り巻く課題の解決につながるような事項について、県の重点施策への取組状況を評価	女性の活躍推進や子育て支援、障害者や若年者の雇用等について企業の取組等
その他		行政処分等

3.入札参加資格審査（等級格付）の流れ



4.令和9・10年度の評定要領について

1. 等級格付け制度の大枠について

変更なし

○審査（格付）方法は、現在の方法を継続

- ・11業種は順位制（上位等級は順位制、最下位等級は基準点制）
- ・18業種は登録制

○上位等級の入札参加資格者数及び基準点は現状維持

2. 評価項目について

変更なし

現在の評価項目

工事施工成績、優良施工知事表彰等、技能士等の配置、継続学習（CPDS,CPD）、建設業労働災害防止協会活動、不当要求防止責任者の選任、障害者雇用、若年者雇用、女性の活躍推進・子育て応援・出会い結婚応援、健康企業宣言、行政処分等

新規追加項目、評価方法についての変更等なし

5.令和9・10年度等級ごとの定数および基準点数について

現行					令和9・10年度案
業種	特A	A	B	C	
土木一式	11業種 順位制	27者 (1~27位)	77者 (28~104位)	162者 (105~266位)	基準点 760点
建築一式			45者 (1~45位)	50者 (46~95位)	基準点 730点
とび土工			27者 (1~27位)	23者 (28~50位)	基準点 740点
電気			20者 (1~20位)	21者 (21~41位)	基準点 710点
管			29者 (1~29位)	59者 (30~88位)	基準点 780点
鋼構造物			8者 (1~8位)	8者 (9~16位)	基準点 620点
舗装			38者 (1~38位)	基準点 930点	
塗装			14者 (1~14位)	18者 (15~32位)	基準点 600点
機械器具			7者 (1~7位)	基準点 650点	
電気通信			10者 (1~10位)	基準点 680点	
造園		29者 (1~29位)	35者 (30~64位)	基準点 710点	
その他の18業種	登録制 (基準点600点)				<変更なし>

6.主観点（技術等評価点）の評価項目選定の考え方

- ① 県の重要政策であること（県施策方針に掲げる施策など）
- ② 担当部局自らが、積極的に施策の推進に取り組んでいること
- ③ 建設業者に限らず他の業種に対しても、同様に施策の周知・推進を行っていること
- ④ 建設業者自体の取組であること（従業員の取組状況・実績が評価の対象でないこと）
- ⑤ 建設業者の取組状況を容易に証明・確認できること

7.令和9・10年度評定要領(評定項目:主観点)について

令和9・10年度 客観点及び主観点の内容

		項目	評価概要	区分
客 観 点	1	経営事項審査	業者の技術力・経営力を評価(全国共通)	継続
主 観 点	2	工事施工成績	工事の施工成績を評価	継続
	3	優良施工知事表彰等	優良建設工事の知事表彰、県土整備部長表彰等を評価	継続
	4	技能士等の配置	技能士等の配置を評価	継続
	5	継続学習(CPDS,CPD)	技術者の継続学習を評価	継続
	6	建設業労働災害防止協会活動	建設業労働災害防止協会での活動を評価	継続
	7	不当要求防止責任者の選任	暴力団不当要求防止責任者の選任・受講を評価	継続
	8	障害者雇用	障害者の雇用を評価、法定雇用率未達成の場合は減点	継続
	9	若年者雇用	若年者(30歳未満)の新規雇用を評価	継続
	10	女性の活躍推進・子育て応援・ 出会い結婚応援	女性の活躍推進、子育て応援、出会い結婚応援への取組 を評価	継続
	11	健康企業宣言	社員の健康づくり推進に取り組む企業を評価	継続
	12	行政処分等	営業停止、指名停止、警告、指導等を受けた場合は減点	継続

8.令和7・8年度 主観点申請状況

令和7・8年度 主観点申請状況

(県内業者: 全社評価対象分)

項目		令和7・8年度		令和5・6年度		令和3・4年度		令和1・2年度		R7・8対R5・6 増減(%pt)	
		該当業者数	割合	該当業者数	割合	該当業者数	割合	該当業者数	割合		
建災防活動参加		415	54.1%	426	53.7%	432	53.7%	420	52.1%	↑	0.4%pt
エコアクション21認証取得		※1		71	9.0%	64	8.0%	67	8.3%		-
障害者雇用	(加點)	168	21.9%	186	23.5%	182	22.6%	182	22.6%	↓	-1.6%pt
	(減點)	15	2.0%	10	1.3%	8	1.0%	11	1.4%	↑	0.7%pt
若年者雇用	若年者	277	36.1%	276	34.8%	291	36.1%	262	32.5%	↑	1.3%pt
	新卒者	89	11.6%	101	12.7%	111	13.8%	-	-	↓	-1.1%pt
女性の活躍推進(※2)		166	21.6%	157	19.8%	333	41.4%	312	38.7%	↑	1.8%pt
子育て応援(※2)		307	40.0%	312	39.3%					↑	0.7%pt
出会い結婚応援		202	26.3%	260	32.8%					↓	-6.5%pt
不当要求防止責任者選任		371	48.4%	366	46.2%	455	56.5%	371	46.0%	↑	2.2%pt
健康づくり	宣言のみ	121	15.8%	151	19.0%	204	25.3%	-	-	↓	-3.3%pt
	認定	290	37.8%	212	26.7%	100	12.4%	-	-	↑	11.1%pt
申請業者数(者)		767		793		805		806		↓	-26

※1 … R7・8から廃止

※2 … R7・8からえるばし・くるみん認定のみを廃止

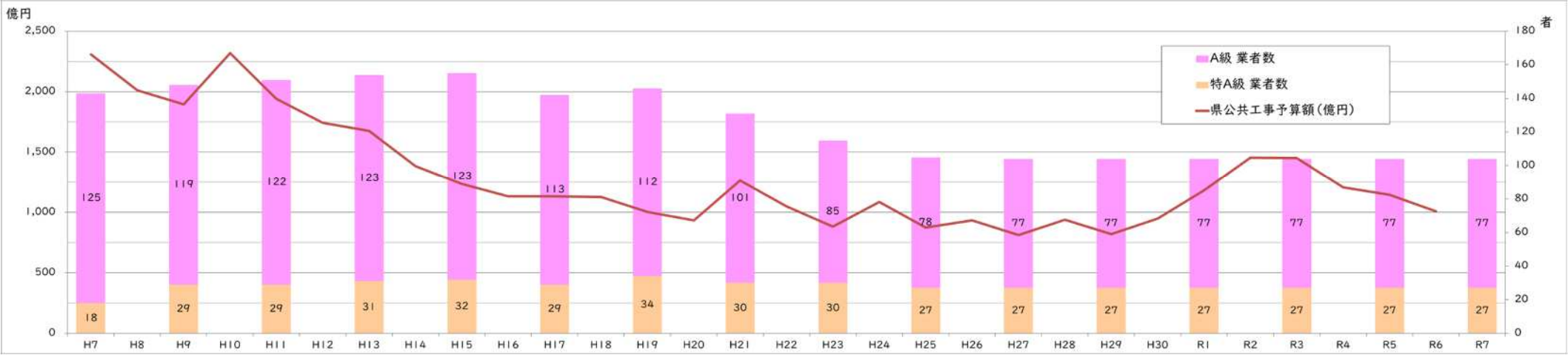
9. 評定要領改正スケジュール

【今後のスケジュール】

	事 項	内 容 等
令和7年 5～7月	【済】建設業者との意見交換会および意見照会	・地区別・等級別で意見交換会を実施（6月） ・上記対象業者以外に向け、メールでの意見照会を実施（～6/10）
	【済】建設業界との意見交換会	各種建設業団体を対象（7月）
8月	・最終案調整	
9月	佐賀県建設業審議会へ諮問	日時：9月4日（木） 場所：佐賀県庁 正庁
10月	建設業者向け公表	令和9・10年度評定要領の内容を県HPに掲載 及び入札参加資格者へ通知
		
令和8年 11月	令和9・10年度入札参加資格審査の 申請受付開始	改正した評定要領の内容で審査・格付

參考資料

県公共投資額と有資格者数(土木特A・A) の推移



	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
県公共工事予算額(億円)	2,308	2,011	1,896	2,318	1,943	1,743	1,677	1,385	1,234	1,132	1,132	1,126	1,003	932	1,262	1,050	883	1,086	874	933	813	939	819	948	1,180	1,454	1,452	1,208	1,145	1,009	
H10を100とした率	100	87	82	100	84	75	72	60	53	49	49	49	43	40	54	45	38	47	38	40	35	41	35	41	51	63	63	52	49	44	0
有資格者数(土木一式特A・A)	143		148		151		154		155		142		146		131		115		105		104		104		104		104		104		104
H15を100とした率	92		95		97		99		100		92		94		85		74		68		67		67		67		67		67		67
特A級 業者数	18		29		29		31		32		29		34		30		30		27		27		27		27		27		27		27
A級 業者数	125		119		122		123		123		113		112		101		85		78		77		77		77		77		77		77

令和7・8年度 <県内建設工事業者> 入札参加資格者数(等級・業種別)

令和7年4月1日現在

業種コード	業種	令和7・8年度(A)							令和5・6年度(B)							増減(A-B)						
		特A	A	B	C	登録	計	級外	特A	A	B	C	登録	計	級外	特A	A	B	C	登録	計	級外
010	土木一式	27	77	162	135		401	79	27	77	163	146		413	68	0	0	△1	△11		△12	11
020	建築一式		45	50	89		184	34		45	50	116		211	22		0	0	△27		△27	12
030	大工					5	5	14					6	6	13					△1	△1	1
040	左官					3	3	5					3	3	5					0	0	0
050	とび土工		27	23	144		194	154		27	23	163		213	142		0	0	△19		△19	12
060	石					7	7	45					11	11	38					△4	△4	7
070	屋根					20	20	6					19	19	7					1	1	△1
080	電気		20	22	46		88	15		20	21	50		91	11		0	1	△4		△3	4
090	管		29	60	111		200	81		29	60	122		211	77		0	0	△11		△11	4
100	タイル					5	5	10					7	7	8					△2	△2	2
110	鋼構造物		8	8	3		19	56		8	8	6		22	52		0	0	△3		△3	4
120	鉄筋					0	0	3					0	0	3					0	0	0
130	舗装		38	25			63	180		38	20			58	184		0	5			5	△4
140	しゅんせつ					40	40	75					39	39	71					1	1	4
150	板金					10	10	2					10	10	2					0	0	0
160	ガラス					8	8	2					7	7	3					1	1	△1
170	塗装		14	18	35		67	29		14	18	36		68	24		0	0	△1		△1	5
180	防水					42	42	10					38	38	11					4	4	△1
190	内装仕上					36	36	9					38	38	8					△2	△2	1
200	機械器具		7	18			25	6		7	13			20	7		0	5			5	△1
210	熱絶縁					3	3	2					3	3	2					0	0	0
220	電気通信		10	20			30	7		10	24			34	5		0	△4			△4	2
230	造園		29	35	29		93	38		29	35	36		100	28		0	0	△7		△7	10
240	さく井					5	5	5					4	4	6					1	1	△1
250	建具					17	17	1					17	17	1					0	0	0
260	水道施設					165	165	108					165	165	112					0	0	△4
270	消防施設					37	37	13					39	39	10					△2	△2	3
280	清掃施設					0	0	1					1	1	1					△1	△1	0
290	解体					167	167	72					174	174	58					△7	△7	14
	合計	27	304	441	592	570	1,934	1,062	27	304	435	675	581	2,022	979	0	0	6	△83	△11	△88	83

※令和5・6年度の数値は令和5年4月1日時点

令和7・8年度 <県外建設工事業者> 入札参加資格者数(等級・業種別)

令和7年4月1日現在

業種 コード	業種	令和7・8年度(A)							令和5・6年度(B)							増減(A-B)				増減 20者		
		特A	A	B	C	登録	計	級外	特A	A	B	C	登録	計	級外	特A	A	B	C	登録	計	級外
010	土木一式	98	16	37	17		168	21	99	14	35	19		167	21	△ 1	2	2	△ 2		1	0
020	建築一式		78	14	13		105	16		81	11	11		103	14		△ 3	3	2		2	2
030	大工					5	5	5					5	5	6					0	0	△ 1
040	左官					2	2	6					3	3	6					△ 1	△ 1	0
050	とび土工		69	12	29		110	25		72	13	25		110	23		△ 3	△ 1	4		0	2
060	石					5	5	14					9	9	12					△ 4	△ 4	2
070	屋根					11	11	3					10	10	5					1	1	△ 2
080	電気		122	29	31		182	15		117	28	26		171	15		5	1	5		11	0
090	管		70	10	15		95	21		66	11	13		90	22		4	△ 1	2		5	△ 1
100	タイル					7	7	4					9	9	4					△ 2	△ 2	0
110	鋼構造物		77	11	0		88	26		80	10	1		91	24		△ 3	1	△ 1		△ 3	2
120	鉄筋					0	0	4					0	0	5					0	0	△ 1
130	舗装		20	16	0		36	26		23	16			39	28		△ 3	0			△ 3	△ 2
140	しゅんせつ					22	22	14					25	25	15					△ 3	△ 3	△ 1
150	板金					2	2	4					3	3	3					△ 1	△ 1	1
160	ガラス					3	3	3					3	3	3					0	0	0
170	塗装		30	4	8		42	16		28	5	8		41	14		2	△ 1	0		1	2
180	防水					22	22	3					16	16	8					6	6	△ 5
190	内装仕上					29	29	5					25	25	6					4	4	△ 1
200	機械器具		122	32	0		154	8		120	36			156	8		2	△ 4			△ 2	0
210	熱絶縁					1	1	4					2	2	5					△ 1	△ 1	△ 1
220	電気通信		118	9	0		127	5		106	9			115	7		12	0			12	△ 2
230	造園		11	2	3		16	10		15	2	4		21	9		△ 4	0	△ 1		△ 5	1
240	さく井					8	8	2					9	9	0					△ 1	△ 1	2
250	建具					11	11	3					8	8	3					3	3	0
260	水道施設					94	94	33					96	96	38					△ 2	△ 2	△ 5
270	消防施設					23	23	7					25	25	7					△ 2	△ 2	0
280	清掃施設					16	16	1					16	16	1					0	0	0
290	解体					45	45	10					51	51	8					△ 6	△ 6	2
	合計	98	733	176	116	306	1,429	314	99	722	176	107	315	1,419	320	△ 1	11	0	9	△ 9	10	△ 6

※令和5・6年度の数値は令和5年4月1日時点

令和9・10年度評価項目（主観点）の詳細（1）

現行				令和9・10年度案
種別		項目	評価	
主 観 点	1	工事施工成績	基準日までの4年間に施工した工事成績の工事で競争入札により発注されたもの。 対象は土木一式工事、建築一式工事、電気工事、管工事、舗装工事、造園工事の6種類。	<継続>
	2	優良施工知事表彰等	直前の2年度間に、優良建設工事として知事表彰を受けた者、当該工事1件につき10点 ・佐賀県優秀技術者等表彰要綱に基づく優良施工工事表彰 ・佐賀の木・家・まちづくり賞実施要領に基づく知事表彰 また、佐賀県優秀技術者等表彰要綱に基づく優良施工工事表彰で、県土整備部長から表彰を受けた者、当該工事1件につき5点	<継続>
	3	技能士等の配置	基準日において雇用する建設工事の種類ごとの技能士等の数に応じ、加点。(上限は30) 1級は5点、2級は2点 植栽基盤診断士は5点 街路樹剪定士は2点	<継続>
	4	継続学習(CPDS,CPD)	CPDS又はCPDの学習単位の企業ごとの合計学習単位(基準日から過去5年間)について、算定式により算出された点数	<継続>
	5	建設業労働災害防止協会活動	基準日までの2年間に、建設業労働災害防止協会の活動に5割以上参加し活動を行っている場合5点	<継続>
	6	障害者雇用	基準日において、法定雇用障害者数を超える人数を雇用している場合10点 なお、障害者雇用促進法第43条に係る障害者雇用を満たしていない場合-5点	<継続>
	7	若年者雇用	(1)採用時の年齢が30歳未満の若年者を採用し、その者が基準日において3か月以上継続して雇用され在籍している場合5点 (2)次の①または②に該当する場合は、(1)に追加して3点を加点する。 ①(1)に該当する場合で、佐賀県内に所在地を置く学校を卒業又は佐賀県立産業技術学院の普通課程を修了した者を採用した場合 ②(1)に該当する場合で、佐賀県内に所在地を置く学校から県外の学校へ進学し、指定期間に卒業した者を採用した場合。	<継続>

令和9・10年度評価項目（主観点）の詳細（2）

現行				令和9・10年度案
種別		項目	評価	
主 観 点	8	女性の活躍推進・子育て応援・出会い結婚応援	(1)「女性の活躍推進佐賀県会議」に会員登録し、 ①女性の管理職比率・数の向上 ②女性が活躍しやすい社内制度の整備や教育の充実 について女性活躍推進宣言を行い、基準日までの2年間に於いて、内容を実施した場合 2点 なお、第6条第2項に規定する直前審査及び直前審査の直前に受けた経営事項審査において「プラチナえるぼし、えるぼし(第1～3段階)認定」の加点を受けた場合には加点は行わない。 (2)「さが子育て応援宣言事業所」として登録し、基準日までの2年間に於いて、宣言内容を実施した場合 2点 なお、第6条第2項に規定する直前審査及び直前審査の直前に受けた経営事項審査において「プラチナくるみん、くるみん、トライくるみん認定」の加点を受けた場合には加点は行わない。 (3)「出会い結婚応援企業」として登録し、基準日までの2年間に於いて、研修を受講した場合 2点	<継続>
	9	不当要求防止責任者の選任	不当要求防止責任者を選任し、選任された責任者が基準日までの2年間に於いて公安委員会による不当要求防止責任者講習を受講した場合 2点	<継続>
	10	健康づくり	「さが健康企業宣言」もしくは「がばい健康企業宣言」を行った後、基準日までの2年間に於いて優良企業として認定され、「認定証」の交付を受けた場合 3点	<継続>
	11	行政処分等	① 営業停止処分 ② 指名停止措置 ③ 指示・勧告・指導・警告(文書によるもの)	<継続>

令和7・8年度 <県内建設工事業者> 入札参加資格者数(事務所管内別)

土木一式 業者数

令和7年4月1日現在

事務所	令和7・8年度(A)					令和5・6年度(B)					増減(A-B)				
	特A	A	B	C	合計	特A	A	B	C	合計	特A	A	B	C	合計
佐賀	13	19	40	55	127	12	21	40	61	134	1	△ 2	0	△ 6	△ 7
東部	2	18	33	21	74	2	15	33	26	76	0	3	0	△ 5	△ 2
唐津	5	13	33	17	68	5	12	33	17	67	0	1	0	0	1
伊万里	2	8	15	10	35	2	9	13	10	34	0	△ 1	2	0	1
杵藤	5	19	41	32	97	6	20	44	32	102	△ 1	△ 1	△ 3	0	△ 5
合計	27	77	162	135	401	27	77	163	146	413	0	0	△ 1	△ 11	△ 12

建築一式 業者数

令和7年4月1日現在

事務所	令和7・8年度(A)					令和5・6年度(B)					増減(A-B)				
		A	B	C	合計		A	B	C	合計		A	B	C	合計
佐賀		14	16	29	59		13	17	37	67		1	△ 1	△ 8	△ 8
東部		10	10	15	35		11	6	21	38		△ 1	4	△ 6	△ 3
唐津		4	6	19	29		5	6	26	37		△ 1	0	△ 7	△ 8
伊万里		5	4	7	16		5	4	10	19		0	0	△ 3	△ 3
杵藤		12	14	19	45		11	17	22	50		1	△ 3	△ 3	△ 5
合計		45	50	89	184		45	50	116	211		0	0	△ 27	△ 27

※令和5・6年度の数値は令和5年4月1日時点